

自律移動型ロボットの SEQSENSE、総額 17.9 億円のシリーズ B 資金調達を実施

～サービスロボットの多様な業界での展開を目指す～

自律移動型ロボットの開発・製造を行う SEQSENSE 株式会社は、シリーズ B ラウンドにて総額 17.9 億円の資金調達を実施いたしました。川崎重工、東北大学ベンチャーパートナーズ、東京センチュリー、フジタ・イノベーションキャピタル、東海東京インベストメント、テイケイ、八十二インベストメント、七十七キャピタル、ジャパンインベストメントアドバイザー、JMTC キャピタルを中心にその他投資家 7 社を引受先としています。今回の調達により、累計調達額は 29.9 億円となりました。調達した資金をもとに、SEQSENSE は警備ロボット事業の更なる拡大と、川崎重工を事業パートナーとし、共同で屋内配送向けサービスロボット「FORRO（フォーロ）」の事業化を進めます。今後も SEQSENSE は働き手不足や生産年齢人口の減少といった課題への解決策として、実務利用できるロボットの社会実装を進めていきます。



当社の事業状況について



SEQSENSE は「世界を変えない。」というミッションを掲げ、深刻化する働き手不足の解決策として、自律移動型ロボットの開発・製造・サービス提供を行っています。現在は自律移動型警備ロボット『SQ-2』を中心にサービスを提供しており、2019 年のローンチ以降、日本全国で約 40 台のロボットが警備現場で実稼働しています。

2022 年 12 月時点の保安業の有効求人倍率（パート含む）は 7.43 倍^{※1}とコロナ禍後も依然として市場全体の中でも非常に高い倍率を保っています。こうした中で『SQ-2』の活用は単なる作業効率化に留まらず、ロボットを使った新たな警備業務の在り方を導入先パートナーと共に構築し、施設管理全体の高度化に寄与しております。



また、SEQSENSE は自社の持つ高い自律移動技術を他領域でも活用するために、事業パートナーと共同事業を展開しております。2022 年より、本ラウンドでの引受先でもある川崎重工と共に屋内配送向けサービスロボット『FORRO（フォーロ）』の開発・事業化に取り組んでおります。2023 年 7 月より引受先のフジタ・イノベーション・キャピタルの母体でもある藤田医科大学でのトライアルサービスを開始するなど、事業パートナーとの協力のもと自社だけでは成し遂げることが難しかった他領域での自律移動型サービスロボットの社会実装を実現してゆきます。

SEQSENSE は、今後も労働人口減少に歯止めがきかないなか、その技術力と知見を活かし様々な領域で実務利用でき

るサービスを実装することで、課題解決を実現することに注力してまいります。

※1：保安の職業には施設警備員や道路管理員、交通誘導員だけでなく、自衛官や消防官、警察官、海上保安官なども含まれます

資金調達概要

調達金額	17.9 億円
調達方法	第三者割当増資
主な引受先 (敬称略、順不同)	<ul style="list-style-type: none"> ● 川崎重工業株式会社 ● 東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社 ● 東京センチュリー株式会社 ● 株式会社フジタ・イノベーション・キャピタル ● 東海東京インベストメント株式会社 ● テイケイ株式会社 ● 八十二インベストメント株式会社 ● 七十七キャピタル株式会社 ● JPE 第 2 号株式会社 (ジャパンインベストメントアドバイザー) ● JMTC キャピタル合同会社 <p>ほか、7 社</p>

自律移動型警備ロボット『SQ-2（エスクーター）』について

自律移動型警備ロボット『SQ-2』と、お客様自身でロボットを運用し警備業務に利用していただける運用管理システムを含めて、警備ロボットシステム『SQ-Guard』として 2019 年よりプロダクトを提供しております。SQ-2 は、独自のセンサー技術や経路計画機能など高度なテクノロジーを駆使することで生まれた自律移動型のセキュリティロボットです。人手不足が深刻な巡回警備業務を人に代わって、もしくは人と分担して行うことを可能とします。独自の 3D LiDAR センサーを搭載し、警備対象の詳細な三次元マッピング、移動物体や歩行者の認識、日常と異なる環境の変化を検出することが可能です。また自社開発のクラウドシステムの連携により遠隔からの指示で各種警備業務（巡回・立哨・動哨）を行うことができます。

<関連リンク>

- 「自律移動型警備ロボット『SQ-2』について」 <https://www.seqsense.com/product/>

屋内配送向けサービスロボット『FORRO（フォーロ）』事業について

SEQSENSE では 2022 年より自律移動技術を核とした協業事業を展開しています。現在は川崎重工と共に屋内配送向けサービスロボット『FORRO』の開発・事業化に取り組んでおります。FORRO は、24 時間体制で病院内での検体配送や薬剤配送業務に従事することができる自律移動型ロボットです。現在、医療現場では高齢化社会に伴う患者数の増加と労働人口減少・働き方改革に呼応する医療業務の効率化が急速に求められています。FORRO はこれらの課題解決のためのロボットサービスとして業務負荷軽減に寄与すべく、藤田医科大学の協力のもと実際の医療現場へのヒアリング・実証実験を重ねながら開発を進めています。

<関連リンク>

- 「藤田医科大学病院で屋内配送向けサービスロボットのトライアルサービスを開始（2023/7/10）」
<https://www.seqsense.com/news/assets/pdf/20230710.pdf>